



# OpenShiftを使用したBlack Duck のインストール

Black Duck 2023.10.0

Copyright ©2023 by Synopsys.

All rights reserved.本ドキュメントの使用はすべて、Black Duck Software, Inc.とライセンス所有者の間の使用許諾契約に準拠します。本ドキュメントのいかなる部分も、Black Duck Software, Inc.の書面による許諾を受けることなく、どのような形態または手段によっても、複製または譲渡することが禁じられています。

Black Duck、Know Your Code、およびBlack Duckロゴは、米国およびその他の国におけるBlack Duck Software, Inc.の登録商標です。Black Duck Code Center、Black Duck Code Sight、Black Duck Hub、Black Duck Protex、およびBlack Duck Suiteは、Black Duck Software, Inc.の商標です。他の商標および登録商標はすべてそれぞれの所有者が保有しています。

12-03-2024

# 目次

まえがき.....	4
Black Duck ドキュメント.....	4
カスタマサポート.....	4
Synopsys Software Integrityコミュニティ.....	5
トレーニング.....	5
包括性と多様性に関するSynopsysの声明.....	6
Synopsysのセキュリティへの取り組み.....	6
1. OpenShiftを使用したBlack Duckのインストール.....	7
2. ハードウェア要件.....	8
3. PostgreSQLのバージョン.....	10
4. Helmを使用したOpenShift上での移行.....	11

# まえがき

## Black Duck ドキュメント

Black Duckのドキュメントは、オンラインヘルプと次のドキュメントで構成されています。

タイトル	ファイル	説明
リリースノート	release_notes.pdf	新機能と改善された機能、解決された問題、現在のリリースおよび以前のリリースの既知の問題に関する情報が記載されています。
Docker Swarmを使用したBlack Duckのインストール	install_swarm.pdf	Docker Swarmを使用したBlack Duckのインストールとアップグレードに関する情報が記載されています。
Kubernetesを使用したBlack Duckのインストール	install_kubernetes.pdf	Kubernetesを使用したBlack Duckのインストールとアップグレードに関する情報が記載されています。
OpenShiftを使用したBlack Duckのインストール	install_openshift.pdf	OpenShiftを使用したBlack Duckのインストールとアップグレードに関する情報が記載されています。
使用する前に	getting_started.pdf	初めて使用するユーザーにBlack Duckの使用方法に関する情報を提供します。
スキャンベストプラクティス	scanning_best_practices.pdf	スキャンのベストプラクティスについて説明します。
SDKを使用する前に	getting_started_sdk.pdf	概要およびサンプルのユースケースが記載されています。
レポートデータベース	report_db.pdf	レポートデータベースの使用に関する情報が含まれています。
ユーザーガイド	user_guide.pdf	Black DuckのUI使用に関する情報が含まれています。

KubernetesまたはOpenShift環境にBlack Duckソフトウェアをインストールするには、Helmを使用します。次のリンクをクリックすると、マニュアルが表示されます。

- ・ [Helm](#)は、Black Duckのインストールに使用できるKubernetesのパッケージマネージャです。Black DuckはHelm3をサポートしており、Kubernetesの最小バージョンは1.13です。

Black Duck 統合に関するドキュメントは、次のリンクから入手できます：

- ・ <https://sig-product-docs.synopsys.com/bundle/integrations-detect/page/integrations/integrations.html>
- ・ [https://sig-product-docs.synopsys.com/category/cicd\\_integrations](https://sig-product-docs.synopsys.com/category/cicd_integrations)

## カスタマサポート

ソフトウェアまたはドキュメントについて問題がある場合は、Synopsysカスタマサポートに問い合わせてください。

Synopsysサポートには、複数の方法で問い合わせできます。

- ・ オンライン: <https://www.synopsys.com/software-integrity/support.html>
- ・ 電話: お住まいの地域の電話番号については、[サポートページ](#)の下段にあるお問い合わせのセクションを参照してください。

サポートケースを開くには、Synopsys Software Integrityコミュニティサイト(<https://community.synopsys.com/s/contactsupport>)にログインしてください。

常時対応している便利なリソースとして、[オンラインカスタマポータル](#)を利用できます。

## Synopsys Software Integrityコミュニティ

Synopsys Software Integrityコミュニティは、カスタマサポート、ソリューション、および情報を提供する主要なオンラインリソースです。コミュニティでは、サポートケースをすばやく簡単に開いて進捗状況を監視したり、重要な製品情報を確認したり、ナレッジベースを検索したり、他のSoftware Integrityグループ(SIG)のお客様から情報を得ることができます。コミュニティセンターには、共同作業に関する次の機能があります。

- ・ つながる – サポートケースを開いて進行状況を監視するとともに、エンジニアリング担当や製品管理担当の支援が必要になる問題を監視します。
- ・ 学ぶ – 他のSIG製品ユーザーの知見とベストプラクティスを通じて、業界をリードするさまざまな企業から貴重な教訓を学ぶことができます。さらにCustomer Hubでは、最新の製品ニュースやSynopsysの最新情報をすべて指先の操作で確認できます。これは、オープンソースの価値を組織内で最大限に高めるように当社の製品やサービスをより上手に活用するのに役立ちます。
- ・ 解決する – SIGの専門家やナレッジベースが提供する豊富なコンテンツや製品知識にアクセスして、探している回答をすばやく簡単に得ることができます。
- ・ 共有する – Software Integrityグループのスタッフや他のお客様とのコラボレーションを通じて、クラウドソースソリューションに接続し、製品の方向性について考えを共有できます。

[Customer Successコミュニティにアクセスしましょう](#)。アカウントをお持ちでない場合や、システムへのアクセスに問題がある場合は、[こちら](#)をクリックして開始するか、[community.manager@synopsys.com](mailto:community.manager@synopsys.com)にメールを送信してください。

## トレーニング

Synopsys Software Integrity, Customer Education (SIG Edu) は、すべてのBlack Duck教育ニーズに対応するワンストップリソースです。ここでは、オンライントレーニングコースやハウツービデオへの24時間365日のアクセスを利用できます。

新しいビデオやコースが毎月追加されます。

Synopsys Software Integrity, Customer Education (SIG Edu) では、次のことができます。

- ・ 自分のペースで学習する。
- ・ 希望する頻度でコースを復習する。
- ・ 試験を受けて自分のスキルをテストする。
- ・ 終了証明書を印刷して、成績を示す。

詳細については、<https://community.synopsys.com/s/education>を参照してください。また、Black Duckのチュートリ

アルについては、Black Duck UIの[ヘルプ]メニュー()から選択してください。

## 包括性と多様性に関するSynopsysの声明

Synopsysは、すべての従業員、お客様、パートナーが歓迎されていると感じられる包括的な環境の構築に取り組んでいます。当社では、製品およびお客様向けのサポート資料から排他的な言葉を確認して削除しています。また、当社の取り組みには、設計および作業環境から偏見のある言葉を取り除く社内イニシアチブも含まれ、これはソフトウェアやIPに組み込まれている言葉も対象になっています。同時に、当社は、能力の異なるさまざまな人々が当社のWebコンテンツおよびソフトウェアアプリケーションを利用できるように取り組んでいます。なお、当社のIPは、排他的な言葉を削除するための現在検討中である業界標準仕様を実装しているため、当社のソフトウェアまたはドキュメントには、非包括的な言葉の例がまだ見つかる場合があります。

## Synopsysのセキュリティへの取り組み

Synopsys Software Integrityグループ (SIG) は、お客様のアプリケーションの保護とセキュリティの確保に専念する組織として、お客様のデータセキュリティとプライバシーにも同様に取り組んでいます。この声明は、SIGのお客様と将来のお客様に、当社のシステム、コンプライアンス認証、プロセス、その他のセキュリティ関連活動に関する最新情報をお届けすることを目的としています。

この声明は次の場所で入手できます。[セキュリティへの取り組み | Synopsys](#)

# 1. OpenShiftを使用したBlack Duckのインストール

OpenShift™は、コンテナを介してクラウドワークロードを管理するためのRed Hatのオーケストレーションツールです。

 **警告**：2023.7.0リリース時点で、Synopsysctlはサポートされなくなり、更新も行われなくなります。Synopsysctlのドキュメントは、<https://github.com/blackducksoftware/hub/tree/master/kubernetes/blackduck>にあります。

## 2. ハードウェア要件

### Black Duckハードウェアのスケーリングガイドライン

スケーラビリティのサイジングに関するガイドラインについては、「[Black Duckハードウェアのスケーリングガイドライン](#)」をご参照ください。

### Black Duckデータベース

**⚠ 危険**：Synopsysのテクニカルサポート担当者から指示がない限り、Black Duckデータベース(bds\_hub)からデータを削除しないでください。必ず適切なバックアップ手順に従ってください。データを削除すると、UIの問題からBlack Duckが完全に起動しなくなるという障害に至る、いくつかのエラーが発生する可能性があります。Synopsysのテクニカルサポートは、削除されたデータを再作成することはできません。利用可能なバックアップがない場合、Synopsysは可能な範囲で最善のサポートを提供します。

### ディスク容量の要件

必要なディスク容量は、管理するプロジェクトの数によって異なります。したがって、個々の要件が異なる場合があります。各プロジェクトには約200 MBが必要であることを考慮してください。

Black Duck Softwareでは、Black Duckサーバーのディスク使用率を監視して、ディスクが最大容量に達しないようにすることを推奨しています。最大容量に達すると、Black Duckで問題が発生する可能性があります。

### BDBAのスケーリング

BDBAのスケーリングは、1時間あたりに実行される予想バイナリスキャン数に基づいて、binaryscannerレプリカ数を調整し、PostgreSQLリソースを追加することによって行われます。1時間あたり15回のバイナリスキャンごとに、次を追加します。

- ・ 1つのbinaryscannerレプリカ
- ・ PostgreSQL用の1つのCPU
- ・ PostgreSQL用の4 GBのメモリ

予想されるスキャンレートが15の倍数でない場合は、切り上げます。たとえば、1時間あたり24回のバイナリスキャンでは、次のものが必要です。

- ・ 2つのbinaryscannerレプリカ
- ・ PostgreSQL用の2つの追加CPU、および
- ・ PostgreSQL用の8 GBの追加メモリ。

このガイダンスは、バイナリスキャンが合計スキャンボリューム(スキャン数)の20%以下である場合に有効です。

### バイナリスキャン

バイナリスキャンのライセンスがある場合、uploadcacheコンテナ/ポッドのメモリを増やす必要がある場合があります。これは、バイナリスキャナがバイナリを抽出して処理する場所であるためです。デフォルトでは、メモリは512MBに設定されていますが、これは大規模なスキャンには適切ではありません。大規模なバイナリをスキャンする場合は、uploadcacheコンテナ/ポッドのメモリを4 GB以上に増やすことをお勧めします。これを実行するには、YAMLを上書きして、メモリ制限を4096MBに更新します。

Swarmインストールの場合：


```
uploadcache:
  deploy:
```



```
resources:
  limits:
    cpus: ".200"
    memory: "4096M"
  reservations:
    cpus: ".100"
    memory: "4096M"
replicas: 1
```

Kubernetesインストールの場合:

```
uploadcache:
  replicas: 1
  resources:
    limits:
      cpu: "200m"
      memory: "4096Mi"
    requests:
      cpu: "100m"
      memory: "4096Mi"
```


 注: Black Duck Alertをインストールするには、1 GBの追加メモリが必要です。

## 3. PostgreSQLのバージョン


Black Duck 2023.10.0では、新しいPostgreSQLの機能がサポートされており、Black Duckサービスのパフォーマンスと信頼性が向上します。Black Duck 2023.10.0の時点では、内部PostgreSQLコンテナ用にサポートされているPostgreSQLのバージョンはPostgreSQL 14です。

Black Duck 2023.10.0以降、PostgreSQLコンテナを使用する導入では、PostgreSQLの設定は自動で設定されます。外部PostgreSQLを使用するお客様は、設定を引き続き手動で適用する必要があります。

PostgreSQLコンテナを使用してBlack Duckのバージョン2022.2.0～2023.7.x(表記を含む)からアップグレードするお客様は、PostgreSQL 14へ自動で移行されます。さらに古いバージョンのBlack Duckからアップグレードするお客様は、2023.10.0へアップグレードする前に、2023.7.xへアップグレードする必要があります。

 注：PostgreSQLのサイジングのガイドラインについては、『[Black Duck Hardware Scaling Guidelines](#)』を参照してください。

独自の外部PostgreSQLインスタンスを実行する場合は、新規インストールに最新バージョンのPostgreSQL 15を使用することをお勧めします。

 注意：PostgreSQLデータディレクトリでウイルス対策スキャンを実行しないでください。ウイルス対策ソフトウェアは、大量のファイルを開いたり、ファイルをロックしたりします。これらはPostgreSQLの操作を妨げます。特定のエラーは製品によって異なりますが、通常、PostgreSQLがデータファイルにアクセスできなくなります。たとえば、PostgreSQLが「システムで開かれているファイルが多すぎます」というエラーを伴って失敗することがあります。

## 4. Helmを使用したOpenShift上での移行

PostgreSQL 9.6ベースのBlack Duckバージョンからアップグレードする場合、この移行ではCentOS PostgreSQLコンテナの使用がSynopsys提供のコンテナに置き換えられます。また、synopsys-initコンテナは、blackduck-postgres-waiterコンテナに置き換えられます。

プレーンなKubernetesでは、上書きされない限り、アップグレードジョブのコンテナはルートとして実行されます。ただし、唯一の要件は、ジョブがPostgreSQLデータボリュームの所有者と同じUID（デフォルトではUID=26）で実行されることです。

OpenShiftでは、アップグレードジョブは、PostgreSQLデータボリュームの所有者と同じUIDで実行されることを前提としています。